

公表

## 児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	縁キッズ中川		
○保護者評価実施期間	2025年1月20日		～ 2025年2月10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 3
○従業者評価実施期間	2025年1月20日		～ 2025年2月10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2025年2月28日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	広い室内を使い、室内でのボール運動やサーキット遊び、リズム遊びなど全身運動や体操を鍛える運動を取り入れることができる	広い室内に玩具等を出したままにせず、毎回片付けることにより端から端を幅広く使え、怪我のリスクを下げます。また、身体を動かすことが好きな利用者様が多いので、いつでも走れる状態にしておく。	サーキットの組み合わせのバリエーションを増やし、より多くの微細運動を取り入れる。
2	異年齢児が過ごすことにより、年上の利用者様が年下の利用者様の面倒を見たり、気遣うなどの関わりができて様々な刺激を受けることができる。	個人の差が大きすぎてしまうというデメリットもあるが、職員が難易度を調整し、全員が同じ活動を行えるようにしている	全員ができたという達成感を持てる活動内容を増やす。また、個人差ごとにグループ分けをするなども行う。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	アンケートにも記載があったが、保護者会や保護者同士が会う機会がほとんどない。	以前に懇親会やBBQを開催した時に全く集まらず、保護者も参加型のイベントを夏祭りだけにしてしまった。	一定回数要望があれば、今後保護者参加型のイベントを検討していきたい
2			
3			

公表

## 児童発達支援事業所における自己評価結果

事業所名	緑キッズ中川				公表日	2025年3月28日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	0	利用者様たちが活動に集中できるよう、自由時間以外は玩具を片付けている	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	0		支援を必要とする子どもに対しての職員の人数が足りないと感じることもある
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	0	入口すぐにロッカーを設置し、お手洗いをすぐなので導線は出来ていると思う	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	0	営業後に毎日清掃を行っているので清潔は保たれている定期液に玩具の清掃もしている	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0	クールダウンスペースがある。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6	0		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	月に1回の児童MT、毎日の終礼で支援内容の振り返りを行っている	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	0	月に1回ほど相談役の方がいらっしゃり、巡回チェックをしてくれている	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	資格の取得や、法人内研修を行い共有している。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0	職員で話し合いプログラムを作成しHPIに公開している	
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7	0	半年に1回児発管による面談を行い計画書を作成している。連絡帳や送迎時にも連携を取っている。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0	月に1度児童MTを行い話し合っている。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	0	全職員で意見を出し合いながら決めている	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0	職員の得意分野を入れたり、同じ活動名でも内容を変えるなどして工夫している。	

関係機関や保護者との連携	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7	0		出来るだけ参加できるような活動に繋げるが、大幅に個人差が出る場合、職員の数に	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0	開所前のMTで、その日のスケジュール、利用者の確認、各自の役割分担の確認を行っている		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	0	毎日の終礼でその日のヒヤリハット、気が付いたことなどを共有し、休みだった職員にも		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	支援プログラムの記録、利用者個人の記録を両方行っている。		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0	終礼時のMTや児童MTを通して児発管が情報を集めて見直しを行っている。		
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	0			
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	0			
	28	(28～30は、センターのみ回答)					
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。					
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外務研修に参加させているか。	3	0			
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	3	0			
	31	(31は、事業所のみ回答)					
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	6	0			
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	6	1	イベントによって近隣の放デイと交流する機会がある		
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	日々の送迎時や、連絡帳、LINEなどで共有をしている		
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	0			
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6	0			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0	日々の送迎時や連絡帳、LINEなどで相談があった際には、必ず面談の場を設けている		

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6	0	夏祭りイベントの際には、ご家族全員で参加できる場を設けた。	
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7	0	月に1度のお便り、日々の活動のブログ、LINEで発信をしている	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0	書類は決まった棚への保管（個人情報書類はネットワークにパスワードを設定）	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	1		
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0	マニュアルは今年度法人統一のものを事業所に合わせて策定した。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0	BCPIは法人統一の書類を事業所に合わせて策定した。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	7	0	保護者と情報の共有を行い、事業所ないで研修も行っている。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0	今のところアレルギー対象の利用者はいない	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	1		
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0	ヒヤリハットは全職員へ共有し、今後に向けて話し合いを行っている。	
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0	虐待研修を行い、意見の交換も行っている、またそれを踏まえた行動を取るようにも心掛けている。		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6	0			